

審査対策勉強会を開催

支払基金の現状学ぶ



23人が参加。講演後は活発な質疑応答も行われた
(報道2面。2月19日、洲本市内)

淡路支部ニュース

2011.2.25
No. 267

兵庫県保険医協会
淡路支部
〒656-0601 洲本市物部三丁目44
松本医院内
☎079-912-1007

Let's...

♪春よ来い／早

く来い／歩き始め
たみよちやんが／
オンモへ出たいと
／待っている

今年に本当に寒
いですね。加えて
時々暖かい日があ
るので、なおさら寒暖の差が
激しく…。

あいかわらず変な世の中。

北は豪雪、南は火山爆発。鳥イ
ンフルエンザも諸所へ。相撲
は国技と言えなくなりそう…。

世界に目を向ければ、中東
に異変。すなわちチュニジア
に続いてエジプトの政権が民
衆のデモで崩壊、そしてイス
ラム諸国も何やら(イスラム
というものを理解しないと不
可解なことが多い)。モスクワ
で自爆テロ。中国・北朝鮮は不
明だが何だかきな臭いことは
否めない。まさにパンドラの
ふたを開いたというべきか

も？

そして、その開いたものは
インターネットでありケータ
イではないだろうか？ その
中で国際宇宙ステーションへ
無人補給所H TVの打ち上げ
成功は快挙であり、世界へ貢
献するところ大と思われるが、
評価されていないように思わ
れる。小沢問題をはじめ国会
のゴタゴタはコップの中の嵐
かもしれない。

しかしながら、それが我々
の生活には緊要件。いよいよ
ガソリンから小麦はじめ食料
品の値上げが現出してきてい
る。菅さんに蛮勇を奮って小
泉式に民主党も壊しても日
本に陽光を当ててもらいたい
ものである。タイガーマスク
のお面でも被つて…。

寒さに弱い私。本当に早く
春がきてほしいものです。新
燃岳の土石流が起これないこ
とを祈る！

【松本記】



講師の南鉄雄氏

南氏は、レセプト電算システムによる請求の増加推移や支払基金内部での審査の実態などを資料を用いて説明。支払基金の各支部間での審査の差異や保険者による画一的な審査など、国民医療や医師の裁量権を守る立場から支払基金における審査の課題もあげた。

協会は二月十九日に洲本市内で、審査対策勉強会「支払基金における審査の現状と問題点」を開催。医師・歯科医師や職員など二十三人が参加した。

全国社会保険診療報酬支払基金労働組合前中央執行委員長で、支払基金兵庫支部係長の南鉄雄氏が講師を務めた。

「支払基金の審査の現状と問題点」 保険者審査など課題を指摘

確定申告相談会個別相談会

日時 3月5日(土)・6日(日) 3時～17時のうち1時間

会場 兵庫県保険医協会会議室

費用 相談料(相談のみ)＝1万円、申告書自己提出の方＝2万円、措置法26条による申告書作成＝3万円～、青色申告等実額による申告書作成＝5万円～

※要事前予約。ご予約・お問い合わせは、TEL 078 - 393 - 1817 税経部まで

インターネットで保険医協会へアクセス!!



★情報満載! 兵庫県保険医協会ホームページ

<http://www.hhk.jp/>

★会員専用のメーリングリストを開設しております。

登録いただける方は下記までお知らせください。

e-mail: hyogo-hok@doc-net.or.jp

健康と医療について語り合う会 地域病診連携をどうするか



会場一杯につめかけた参加者(上)
質問に丁寧に答えた高橋先生(下)

「すもと高齢社会をよ
くする会」(代表・浜中清
氏)からの講師要請によ
り、協会淡路支部「健康
と医療について語り合う
会」として洲本市の高橋

雅彦先生(高橋内科医院)
が2月5日に洲本市総合福
祉会館で「あなたのいのち
を守る病診連携医療体制」
をテーマに講演した。会場
が満員となる市民ら一〇一

人が参加した。
高橋先生は、日本の国民
皆保険制度の優れた点や、
政府の低医療費政策の問題
点などを解説し、特に在宅
療養などでの病院・診療な
ど地域ケア体制についてわ
かりやすく説明した。
講演後は、参加者からの
質問にも一つひとつ回答し
た。

投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張
など、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流
したいと思います。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 kusunoki@doc-net.or.jp

淡路支部担当 楠 まで



兵庫県保険医協会淡路支部「臨床談話会」

第一線医に必要な「めまい」の知識

日 時 3月19日(土)15時～

会 場 洲本市文化体育館2C-3(2階)

(洲本市大浜海岸、TEL:0799-22-0203)

講 師 県立淡路病院耳鼻咽喉科 主任医長

佐川 公介先生

参加費 無料



めまいは最も頻度の高い症状のひとつであり、めまいを訴える患者は耳鼻咽喉科、内科、脳外科などを受診されます。それは、めまいという症状がふらつきや立ちくらみなどの症状もめまいと訴えられることが多いからです。

また、めまいは回転性めまいや浮動性めまい、眼前暗黒感などに分けられ、それぞれのめまい症状ごとに責任病巣が推定できることが多いと思われます。

以上より、この会ではめまいの症状で中枢性？末梢性？または血圧調節障害？血流障害？などを推定し、その後どのような検査をすることにより確定診断に至るのか、またその治療法について、お話をさせていただこうと考えております。

【佐川記】

お問い合わせは、Tel 078 - 393 - 1807 事務局 楠(クノキ)、段林 まで

申込 Fax078 - 393 - 1802 楠宛(切り取らずに送信ください)

3月19日(土) 兵庫県保険医協会淡路支部「臨床談話会」に

ご参加 () 人 都合がつけば () 人

お名前 _____ 医療機関 _____

お電話 () _____